

# マーケット・レポート

# Weekly Guide 2025.12.08

りそなアセットマネジメントの  
YouTubeチャンネルで、  
音声付きの解説動画を  
ご視聴いただけます！



## 主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

先週は、米国の民間雇用指標の弱さを手掛かりに12月の米利下げ期待が一段と高まり、世界的な株式市場は続伸しました。NYダウは週間で+0.5%、NASDAQ総合指数は同+0.9%、独DAX指数は同+0.8%。日経平均株価は同+0.5%で終えました。一方、債券市場では日本の金利上昇から日本への資金回帰が意識され、世界的に売りが先行しました。10年国債利回りは米国が前週末比+12bpの4.14%。独は同+11bpの2.80%。日本は同14bp上昇し、18年ぶりの高水準1.95%に上昇しました。ドル円は日銀の12月利上げ観測の高まりを受け、一時154台まで円買い・ドル売りが進みました。週末は前週末比85銭円高・ドル安の155円33銭で引けました。

今週は、FOMC(米連邦公開市場委員会)に注目が集まります。3会合連続となる0.25%の利下げは既に織り込まれており、市場の関心は2026年以降の利下げのパス(道程)に向かっています。

### 当面の注目イベント

- ◆ 日・10月実質賃金総額 (8日)
- ◆ 米・11月NY連銀消費者インフレ期待 (8日)
- ◆ 日・植田日銀総裁講演(FT誌主催) (9日)
- ◆ 米・10月JOLT(求人件数) (9日)
- ◆ 米・FOMC (9・10日)
- ◆ 日・11月企業物価 (10日)

FOMCの政策決定と同時に発表される政策金利予測(通称:ドットチャート)では、とりわけ以下3点が注目されます。

①2026年の利下げ回数、②利下げの最終着地点(前回9月は3.125%)、③中立金利と見なされる長期予想(同3.0%)

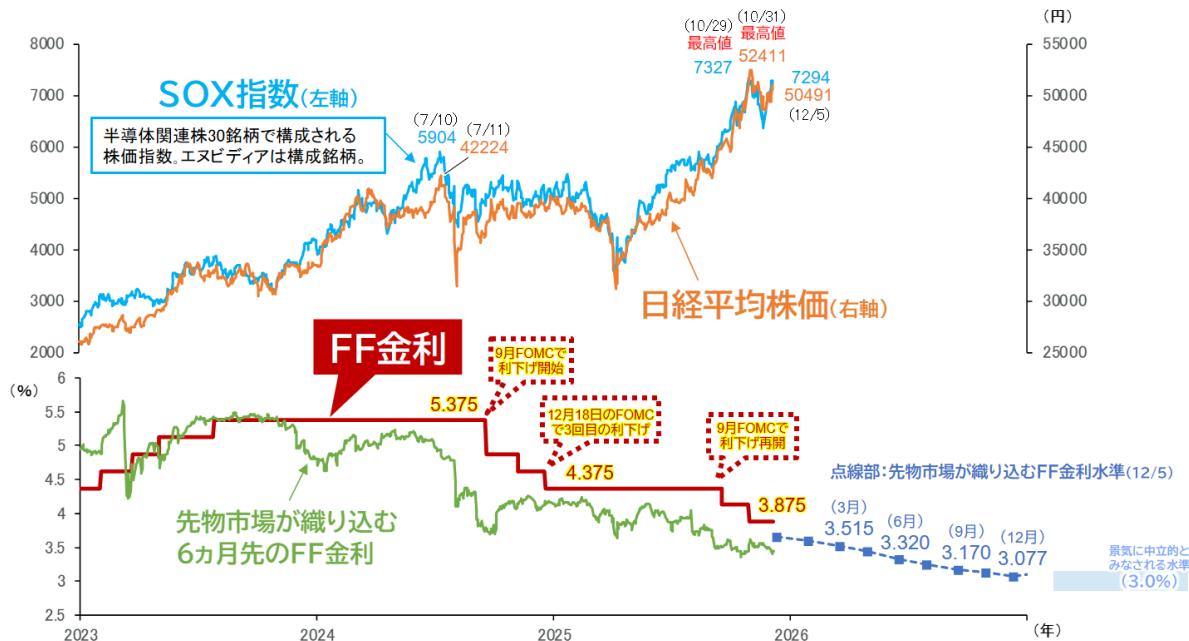


※最終ページの「当資料に関するご留意事項」を必ずご覧ください。



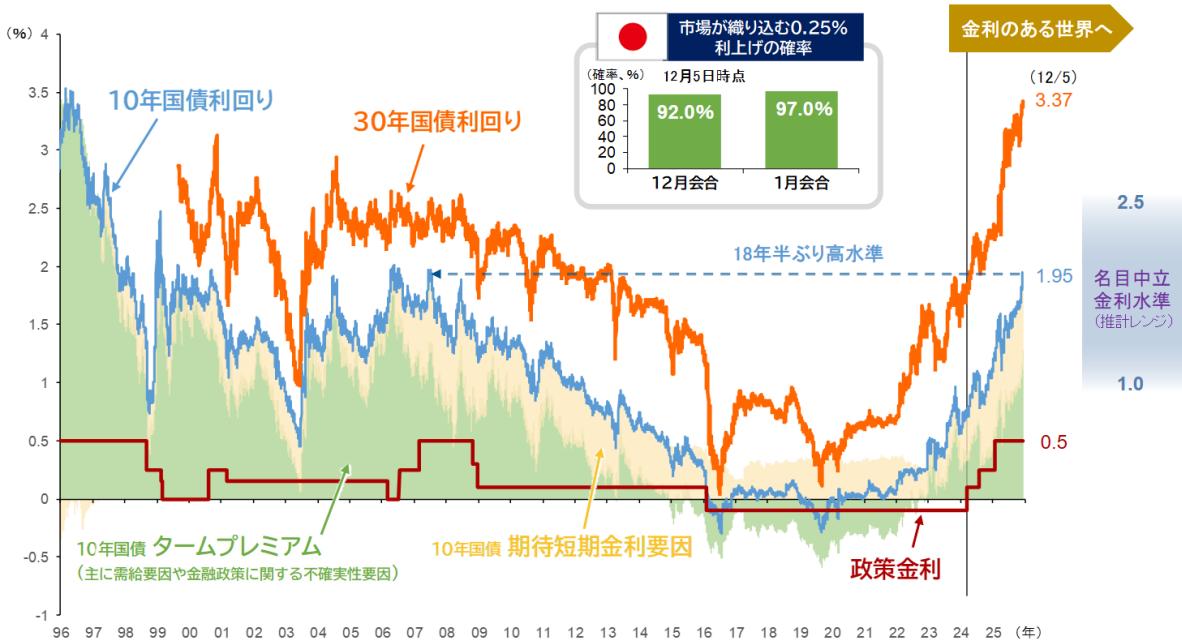
りそなアセットマネジメント

新たに示されるFOMC委員による政策金利予測は、すぐにFF金利先物等各市場に反映されます。2026年以降の利下げ継続の方針が再確認されれば、金利見通しに敏感な成長株に対する買い安心感が広がると予想されます



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

日本10年国債利回りは18年ぶりの高水準の1.95%に上昇、同30年債利回りは過去最高の3.4%台に一時上昇しました。積極財政による国債需給悪化や日銀の最終利上げ水準を巡る不確実性等を反映しています



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

次回は 2025年12月15日 発行予定です

#### 〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡しする「目論見書補完書面」を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。